

「地熱を利用した地域活性化」について意見をお寄せください！

～地熱発電利用拡大に向けたご意見募集 第二弾～

集計結果

- 実施期間 平成27年10月28日（水）～平成27年11月20日（金）
- 実施方法 広報はちじょう平成27年11月号へ折込のうえ、全戸配布
八丈町公式サイトに掲載
提出方法は、町役場及び各出張所への持込、電子メール、FAX
郵送による
- 回収件数 13件

※アンケート本紙にも記載のとおり、お寄せいただいたご意見は、今後の町施策の参考にさせていただくとともに、新たな事業者を選ぶ際に、あらかじめ応募事業者に提供し、事業者から地元貢献について提案してもらうための参考資料として活用するものであり、回答していただいた提案の実現を約束するものではありません。

問1 あなたの性別をお答え下さい。(1つに〇)

1. 男性	6
2. 女性	7
3. 無回答	0
合計	13

問2 あなたの年齢は、おいくつですか。(1つに〇)

1. 10代以下	0
2. 20代	0
3. 30代	1
4. 40代	0
5. 50代	3
6. 60代	4
7. 70代	4
8. 80代以上	1
9. 無回答	0
合計	13

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに〇)

1. 三根	5
2. 大賀郷	4
3. 檜立	0
4. 中之郷	4
5. 末吉	0
6. 無回答	0
合計	13

問4 あなたは八丈町に合計でどのくらい住んでいますか(1つに〇)

1. 5年未満	1
2. 5年以上10年未満	1
3. 10年以上20年未満	0
4. 20年以上30年未満	1
5. 30年以上40年未満	4
6. 40年以上50年未満	2
7. 50年以上	4
8. 無回答	0
合計	13

問5 新しい地熱発電事業による島の活性化について、次のうちどれに期待しますか。

(3つまで○)

※新たな地熱発電事業において、熱水利用を行うかは決まっています。

1. 発電後の熱水を活用し、農業温室を暖めることによる、植物の成育促進や熱帯植物の生産	8
2. 発電後の熱水を活用し、いけすなどに貯める水を暖めることによる、魚介類の陸上養殖や、伐採木等を乾燥させることによる、廃棄植物の資源化などの新たな産業の創出	7
3. 教育分野との連携による、環境学習への活用	3
4. 観光産業と連携した、地熱発電所などを見に来る観光客や視察の増加	4
5. 地熱を契機としたその他の新たな産業の創出や島外企業の誘致	5
6. その他	3
合 計	30

【その他のご意見】

- ・新たなものではなく、リサイクル的な何か。
- ・天候不良時及び冬季利用可能な温水プール。島内外各学校水泳部や公式試合出場選手の冬季強化練習等。
- ・温水プールの活用。
- ・現在の温度では農業温室を暖めることができていない。町として本当に実現できることを見極めてほしい。甘言は必要ない。
- ・夜間余剰電力の活用。余っている電力を使う。地熱発電は微妙な出力の上げ下げが難しいと聞いている。細かい余った電力が発生するので、捨てないで活用する。

問6 近年、生活を支えているエネルギーについて、全国的にそのあり方を考える意識が高まっています。その中でも、再生可能エネルギー事業に地域住民が関わることで、持続的に地域の自立や地域振興を目指す取り組みが全国で進められています。例えば、事業により得られた利益を島内で循環させる仕組みとするために、住民などからの出資や地域金融と連携している事例があります。

新しい地熱発電事業により、事業により得られた利益を島内で循環させる仕組みが始まるとして、あなたは出資や地域金融を通じて事業に関わりたいと思いますか。

(1つに○)

※新たな地熱発電事業において、このような仕組みとなるかは決まっています。

1. 利益に関わらず、環境保全や地域社会の貢献のために関わりたい	3
2. 利益が無くても、出資したお金が回収できるなら関わりたい	5
3. 資産運用として利益が出そうなら関わりたい	0
4. 投資にはリスク（あやうさ）が伴うので関わりたくない	2
5. その他	3
6. 無回答	0
合 計	13

【その他のご意見】

- ・生活が苦しいため、貢献したくとも金銭的なものは無理。
- ・仕組み等、詳しい説明があり納得できれば①。これも町が厳しく検討してほしい。
- ・基本的には①だが、どのような企画なのか、内容により参加するか決めたい。お金を出すので、企画の内容が大事。

問7 新しい地熱発電事業を進めていくなかで、心配だと思うことは何ですか。

(1つに○)

1. 安定的に発電を続けられるか	5
2. 臭気（硫化水素）の生活環境への影響	7
3. 臭気以外の生活環境への影響	0
4. 動植物など自然環境への影響	0
5. 景観への影響	0
6. 温泉への影響	0
7. その他	0
8. 無回答	1
合 計	13

問8 今回の地熱発電事業者公募に関連して、**再生可能エネルギーの導入推進や、それに伴って八丈島が豊かになる方策**へのご意見やアイデアなどがありましたら、具体的にご記入ください。

【自由意見の概要】

- ・町広報で学習する以外にはわからないのが一般と思うが、今後具体的な方策が伝えられることにより、町民の知性が増していくと思う。テレビで広報があり、知識が得られることもある。
- ・観光分野の充実を地熱発電事業と連携してほしい。
- ・日本で再生可能エネルギー自給率の「てっぺん」を目指す。
 - 島外からの有識者の移住を増やす。
 - その方たちの友人、知人が来島するようになる。
 - 八丈島のおだやかな成長に結びつく。
- ・安定した地熱発電が出来れば自然と観光客も増えると思う。島の人たちの多くは望んでいると思うし、あまり長期間検討しては、私達は高齢のため、楽しむことが出来ない。豊かな島づくりにも必要。一日も早い導入を希望する。臭気を気にしているところもあるが、三根地区はまた違うが、そのようなことも手を加えることで改善することだろう。
- ・原子力発電にかわるエネルギー源として、是非、地熱発電の活用を広めて欲しい。
- ・硫化水素の量を自動センサーで計り、ホームページに随時公表することを希望する。
- ・豊富な電力を使うプロジェクト（会社）を作る。
 - 例① 大きな電力を使うアルミ再成事業。アルミ缶をアルミのインゴット（※）にするのに電気分解をするようなので、大量の電気を使う。ただし、アルミ缶を運んできて再成してまた輸送するのは商業的に合うのか疑問ではある。
 - ※インゴット…地金。金属塊。金や銀の場合、のべ棒ともいう。
 - 例② 電気をどれだけ使うか分からないが塩の製造。イオン膜を使い電気を流すことによる電気（IHI方式）で乾燥させて作る。もしくは真空乾燥で作る。工業塩は単価が安いので、採算が取れるかは計算する必要がある。
 - 例②-2 海水から塩をとったにがり成分から、マグネシウム・カルシウム・カリウムを抽出し、様々な用途へ役立てる。
- ・豊富な電気が作れるなら、利用価値は高いと思う。電気を使い付加価値のあるものを作れば、観光を含め発展の余地がある。

< ご協力ありがとうございました >